

安全・安心見守り隊

第2層協議体の話し合いの中から生まれた「見守り隊」です。高齢者の役割作りと顔の見える関係作りが同時にできました。多くの効果がみられています。

鹿児島県奄美市 取組事例

安全・安心見守り隊

～つらべから うच्चゅマデ マージンマ～



鹿児島県奄美市の上方(かみほう)地区では、老人クラブなどで地域の「見守り隊」を結成し、下校時の子どもたちの見守りを行うことで、不審者の声かけや交通事故を防ぎ、地域の安全・安心づくりに貢献しています。
この見守り隊の取組で、安全運転を心がける方が増えたり、子どもたちと高齢者の会話がぐえ、親しみのある関係づくりができるなど、地域全体にさまざまなプラスの効果が現れています。

見守り隊結成までの道のり

【協議体の話し合いで課題が出る】

- 不審者による事案の増加
- 下校時の見守り不在(保護者が働いているため)

【地域へ呼びかけ】

「老人クラブやその他の地域住民を中心に、『見守り隊』を結成してもらい、子どもたちを地域で見守ろう!」

【取組スタート!】

- 曜日を決めて帰宅時の見守り開始。
- 県・市の補助で腕章とベストを購入し、各地区に配布して活動意欲を向上。

見守り隊の主な効果

- 高齢者の役割づくりになり、地域に出るきっかけとなっている。
- 見守り隊が立っていることで、通行車両もスピードを落としたり、すぐに一時停止してくれるなど、より安全に配慮してくれるようになった。
- 子どもたちが元気にあいさつをしてくれることで、高齢者との顔の見える関係づくりができた。
- 地区の不審者事案が減った。など



【鹿児島県奄美市】人口約4万3千人。美しい海と豊かな動植物を有する、世界自然遺産登録候補地のひとつです。奄美市は、島ならではの絆を基盤に、「わらべ(子ども)から うच्चゅ(高齢者)まで まーじんま(いっしょに) 小さな手助けをしあいながら つながりあう地域」を目指しています。